

平和意識高揚事業

1 ジュニア向け平和学習用教材の作成

広島平和記念資料館見学の事前学習や、学校・家庭等での平和教育用に、小学校低学年向けの分かりやすい平和学習用教材を 25,000 部作成しました。

2 ひろしま子ども平和の集い

若い世代の平和意識の高揚と主体的な取組の促進を図るため、平和記念式典への参列等を目的に広島を訪れる青少年と広島の青少年が、共に被爆の実相を学ぶとともに、平和へのメッセージを発表する「ひろしま子ども平和の集い」を開催し、約 350 人の来場者の下、11 団体が発表を行いました。

開催日 令和 4 年 8 月 6 日（土）

場 所 広島国際会議場



ひろしま子ども平和の集い

3 こどもたちの平和文化活動支援事業

広島市内の小・中学生による多様な平和文化活動を奨励することにより、平和文化活動を活性化させ、子どもたちの平和意識の高揚を図るため、平和文化活動（絵画、習字、作文、俳句、標語、工作等）を行った学校からの申請を受け、参加者全員に記念品を贈呈しました。

令和 4 年度は 6,243 人の参加がありました。

4 スポーツを通じた平和意識の醸成

広島東洋カープやサンフレッチェ広島など広島のプロスポーツチームの試合の場を活用して、核兵器廃絶と世界恒久平の実現に向けた平和のメッセージを発信しました。

（1）ピースナイターの開催

開催日 令和 4 年 8 月 6 日（土）

場 所 MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島（広島市民球場）

内 容 ①松井市長、湯崎^{まつい}県知事等による平和を願うメッセージの放映
②広島東洋カープの監督、選手等のユニフォームへのピースワッペン^{ゆざき}の装着



ピースナイター

(2)ピースマッチにおけるピースアクティビティへの支援

- 開催日 令和4年7月30日(土)
- 場所 エディオンスタジアム広島
- 内容 ①広島市長と被爆者による平和のメッセージ放映とキックインセレモニー
②被爆の実相を伝えるパネル及び『『ヒロシマ・アピールズ』ポスター2022』の展示



ポスター展示の様子

5 平和文化の振興

広島市が毎年11月を平和文化月間と定めたことを受け、本財団では様々な機関や団体との連携のもと、多様なイベントを通じて「平和」への思いの共有につながる「文化」の振興を図りました。

(1) 平和文化月間の取組

① オープニングイベント「平和文化講演会」

- 開催日 令和4年10月29日(土)
- 場所 広島平和記念資料館
- 内容 俳優 こんのみさこ 紺野美沙子氏による講演及び朗読
- 参加者 約200人



平和文化講演会で講演する
紺野美沙子氏

② 市民平和文化イベント

～ヒロシマの 思いをつなごう 文化の日～

- 開催日 令和4年11月3日(木・祝)
- 場所 広島国際会議場 ダリア
- 内容 若い世代を中心としたステージ発表や
展示発表
- 参加者 約400人



市民平和文化イベント
ステージ発表の様子

③ みんなで伝え合おうヒロシマ・ナガサキ ～広島の会 2022～

- 開催日 令和4年11月12日(土)
- 場所 広島平和記念資料館
- 内容 朗読を中心に広島・長崎の被爆者の思いを伝える事業(市民団体との共催)
- 参加者 約200人

④ ヒロシマ・ピースフォーラム 公開プログラム

—映像作品を通して平和を考える—

開催日 令和4年11月19日(土)

場 所 広島平和記念資料館

内 容 ① 被爆当時の日常をアニメで表現した「太陽をなくした日」の上映及び作者の講演
② 原爆ドームの保存に大きな影響を与えた楳山ヒロ子さんの日記に関する映画「ヒロ子の日記」及び監督の講演

参加者 約100人

(2) 年間を通じた取組

① 平和文化ワークショップ ～THINK! Hiroshima 平和をつくる具体的な方法～

開催日 令和4年6月5日(日)

場 所 広島平和記念資料館

内 容 まちづくりなどに取り組むゲストとともに、身近な生活、社会に視線を向け、そこに存在する社会の問題等について考え、「誰もが暮らしやすい」という意味における「平和」な街を気付いていくためのきっかけを見つけるワークショップ

参加者 24人

② 被爆ピアノコンサートの開催

開催日 令和4年9月18日(日)

場 所 CLIP HIROSHIMA

内 容 被爆ピアノとバイオリンによる合奏、千田^{せんだ}パンフルート合唱隊の演奏など

参加者 約100人

6 機関紙の発行等

(1) 機関紙の発行

平和文化の普及と国際交流・協力の推進及び本財団の事業の広報のため、和文機関紙「平和文化」(昭和51年度(1976年度)創刊)をA4判、16ページまたは12ページの体裁で1回5,000部、年3回発行し、令和4年度には211号まで発行しました。

また、海外にも平和文化活動を広報するため英文機関紙「PEACE CULTURE」(昭和53年度(1978年度)創刊)をA4判、12ページの体裁で1回2,000部、年2回発行し、令和4年度には88号まで発行しました。

令和5年度から機関紙をカラー化し、デザインも一新しました。また、情報の即時性の観点から和文機関紙の発行回数を年4回に増やしました。



和文機関紙「平和文化」



英文機関紙「PEACE CULTURE」

和文機関紙「平和文化」配布状況

令和5年3月31日現在

区 分	件 数	部 数
国内個人・団体	434	513
市内平和関係団体、ネットワーク団体	253	259
国公立・大学図書館	198	200
財団役員・評議員・会員（維持・賛助）	144	144
報道関係	17	17
地方自治体	44	44
国際交流・協力機関・団体	144	183
学校（市内・県内の小・中・高等学校等）	72	202
広島市・広島県関係個人・部署・団体（配架含む）	504	2,420
広島平和記念資料館来館者等への配布	—	1,018
合 計	—	5,000

英文機関紙「PEACE CULTURE」配布状況

令和5年3月31日現在

区 分	件 数	部 数
国内個人・団体	90	130
市内平和関係団体、ネットワーク団体	13	13
国公立・大学図書館	17	18
報道関係	3	3
地方自治体	44	44
国際交流・協力機関・団体	113	151
学校（市内・県内の大学、専門学校等）	13	115
駐日大使館	155	155
広島市・広島県関係個人・部署・団体（配架含む）	20	105
広島平和記念資料館来館者等への配布	—	1,266
合 計	—	2,000

(2) 事業報告「平和と交流」の作成

本財団の組織内容、予算書、決算書や事業の詳細な紹介・広報を目的として、事業報告「平和と交流」の2023年版（令和4年度事業）（A4判、168頁、PDF形式）を作成し、令和5年9月4日付で本財団のホームページに掲載しました。

- （経緯）
- 1 昭和42年（1967年）10月13日に広島市の一局として広島平和文化センターが発足し、昭和46年（1971年）3月31日に「平和と交流」の前身である「平和の推進」を創刊しました。その後、昭和48年度と50年度に隔年で刊行しました。
 - 2 昭和51年（1976年）4月1日の財団化に伴い、「平和の推進」に新しい内容を盛り込み、財団の事業内容や原爆・平和に関する有益な情報を提供するため引き続き刊行し、昭和52、54、56、58年度までは隔年で、昭和59年度からは毎年刊行しました。
 - 3 平成10年（1998年）4月1日、組織改正により財団法人広島平和文化センターと財団法人広島市国際交流協会が統合され、本報告書の名称を「平和の推進」から「平和と交流」と改めました。
 - 4 平成19年度（2007年度）からは冊子形式による作成を中止し、ホームページ（<https://www.pcf.city.hiroshima.jp/hpcf/jigyo/>）での公開となりました。

(3) インターネットによる情報の発信

本財団の情報公開を進めるとともに、国内外の方々に平和文化の普及を目的として、本財団の概要（設立目的、沿革、事業紹介、組織など）や機関紙「平和文化」などを日本語と英語で掲載したホームページを平成16年（2004年）4月1日に開設しました。令和5年2月1日にはデザインを一新し、スマートフォン等に対応したレスポンスデザインを採用しました。

令和4年度のアクセス件数は156,332件でした。

URL : <https://www.pcf.city.hiroshima.jp/hpcf/>



公益財団法人広島平和文化センターホームページ

(4) 学会への助成

紛争の諸原因と平和の諸条件に関する科学研究を行うことを目的として、日本平和学会が昭和48年（1973年）に発足しました。この学会の平和研究の促進を図るため、昭和63年度（1988年度）に入会し、平成27年度（2015年度）からは賛助会員となり、年間3万円を助成しています。

また、令和4年6月18日（土）・19日（日）にオンライン開催された日本平和学会2022年度総会及び春季研究大会を職員が聴講しました。

7 広島平和記念資料館ホームページ及びデータベースの管理・運用

(1) 広島平和記念資料館ホームページ

核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を世界に訴え、国際世論を醸成していくため、原爆・平和に関する情報を発信しています。

● 広島平和記念資料館ウェブサイト

平成7年（1995年）8月から広島市のホームページの中に平和宣言や原爆被害の概要を掲載し、インターネットを活用した平和情報の発信を行ってきました。

平成29年（2017年）4月からは、従来の「ヒロシマ・ピース・サイト」をリニューアルした新しいウェブサイトを公開しています。

令和4年度のアクセス件数は1,070,639件でした。

URL：<https://hpmuseum.jp/>

また、令和3年1月から休止していた子ども向け平和学習ホームページ（キッズ平和ステーション）の運用を、令和4年3月31日に再開しました。

令和4年度のアクセス件数は467,625件でした。

URL：<http://www.pcf.city.hiroshima.jp/kids/?331>



広島平和記念資料館ホームページ



広島平和記念資料館
Hiroshima Peace Memorial Museum

広島平和記念資料館(Website Tool)もどる. Return to Hiroshima Peace Memorial Museum Website

Copyright©2022 Hiroshima Peace Memorial Museum
●このホームページの複製、文書の無断転載はできません。
広島平和記念資料館 館長課 住所：広島市中区中島町1-2 電話：082-242-7828
*Copying photos and sentences without permission is prohibited.

キッズ平和ステーション

(2) データベース

① 事業の概要

平和に関する資料を保存し、被爆体験の継承を図るとともに、多くの方々に活用していただくため、平成4年度

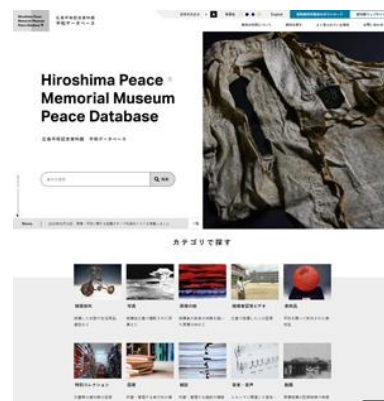
(1992年度)から各種の情報を含む平和データベースシステムの構築を進めています。その後、広島平和記念資料館所蔵被爆資料の全データを新たに加えるなど、データベースの大幅な機能・内容の拡充を行った上、より広く活用されるよう、平成11年(1999年)12月8日からインターネットによる公開を始めました。

令和4年(2022年)2月1日には、デザインを一新するとともに、スマートフォン等で閲覧した際にも表示が最適化されるレスポンスデザインを採用したほか、資料館が所蔵する文書等の資料群の目録を公開する「特別コレクション」カテゴリーを新設するリニューアルを行いました。国立国会図書館が運用する分野横断型統合ポータル「ジャパンサーチ」のほか、広島県内の図書館等が所蔵する図書情報を収録する「広島県内図書館等横断検索」、全国の図書館等の図書情報を収録する「カーリル」でも平和データベースに掲載された情報の検索が可能となっています。

URL：<https://hpmm-db.jp/>

【公開している資料】

- | | |
|---------------|---------------|
| ①被爆資料 | ⑥原爆の絵 |
| ②平和をテーマとした美術品 | ⑦特別コレクション |
| ③原爆記録映画などの動画 | ⑧平和に関する音楽CDなど |
| ④被爆体験者証言ビデオ | ⑨平和関係図書（単行本） |
| ⑤写真 | ⑩平和関係図書（雑誌） |
- 約10万点



平和データベース

② 平和データベースの利用方法

平和データベースはどなたでも自由に閲覧・検索することができます。画像・文章の無断転用はできません。

〔お問合せ〕

- 被爆資料、写真、原爆の絵、美術品、被爆者証言ビデオ、特別コレクションについては広島平和記念資料館 学芸課まで
電話：(082) 241 - 4004
E-mail：gakugei@pcf.city.hiroshima.jp
- 図書（単行本・雑誌）、音楽・音声、動画については広島平和記念資料館 情報資料室まで
電話：(082) 241 - 4004
E-mail：gakugei@pcf.city.hiroshima.jp

8 情報資料室の管理運営

(1) 施設の紹介

情報資料室は、昭和49年（1974年）6月1日に広島平和記念館2階に図書館として開設され、原爆・平和に関する資料の収集を行ってきました。その後、平成6年（1994年）6月に広島平和記念館が広島平和記念資料館東館として改築されたのに伴い、東館地下1階に情報資料室として設置されました。

この情報資料室は被爆体験を継承・伝承するとともに、平和文化の普及、高揚を図るための調査、研究の場とすることを目的として運営しています。

なお、情報資料室には、本財団の蔵書のほか、原爆資料保存会から広島市に寄託された図書もあります。



情報資料室

(2) 資料一覧（令和5年3月31日現在）

蔵書数

● 広島平和文化センター

（単位：件）

区分	蔵書数	区分	蔵書数
和書計	29,710	産業	297
総記	1,874	芸術	2,188
哲学	514	言語	131
歴史	4,048	文学	9,487
社会科学	9,254	洋書計	3,774

自然科学	744	雑誌計	39,155
技術	1,173	合計	72,639

(注)同じタイトルの本が複数あるときは、1件として数える。

● 原爆資料保存会

(単位：冊)

区 分	蔵書数	区 分	蔵書数
文 学	1,464	芸 術	223
社 会	1,054	洋 書	365
原子科学	866	重要文献	149
体 験	557	目 録	67
歴 史	191	スクラップブック	193
医 学	968	合 計	6,097

購入・寄贈図書数（広島平和文化センター）

区 分	購入図書			寄贈図書		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
単行本	件 54	件 83	件 83	件 578	件 783	件 716
雑誌・機関紙	69	28	40	337	393	289
計	123	113	123	915	1,176	1,005

(3) 利用方法及び利用状況

12月29日～1月1日を除いて、午前9時から午後5時まで、原爆・平和に関する図書、雑誌、各種視聴覚資料などの閲覧、被爆資料の検索ができます。また、お問い合わせにお答えするほか、コピーサービス（有料）も行っています。

利用者数

(単位：人)

区 分	人 数
令和4年度	5,415
令和3年度	3,747
令和2年度	4,321

○ 資料展「世界に広がる『夕凧の街 桜の国』」

令和4年春に、作者のこうの史代さんから7か国語で出版された『夕凧の街 桜の国』の寄贈がありました。これまでの資料と合わせて、世界各地で翻訳・出版された11か国語版を、情報資料室の展示ケースで紹介しました。一部の資料は、手に取ってご覧いただ

けるように配置。この作品は、核保有国の使用言語である英語・フランス語・ヒンディー語・ロシア語にも翻訳され、ヒロシマの思いを伝えていることが注目され、毎日新聞国際版（7月18日付）で紹介されました。

期 間 令和4年7月1日（金）～令和5年1月31日（火）

場 所 広島平和記念資料館東館地下1階



ロシア語版（2019年）

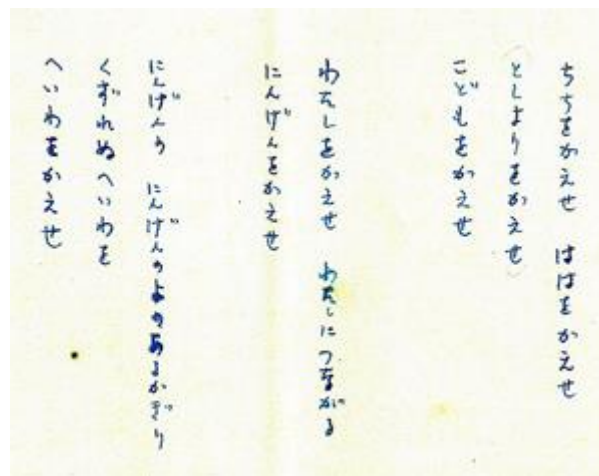
◎この史代／コアミックス

○ 資料展「峠三吉資料 没後70年記念特別公開」

「ちちをかえせ、ははをかえせ…」の冒頭で知られる『原爆詩集』の著者、峠三吉氏の没後70周年を記念し、通常は非公開の『原爆詩集』の最終原稿と被爆当時の日記2冊を紹介しました。

期 間 令和5年2月23日（月・祝）～3月13日（月）

場 所 広島平和記念資料館東館地下1階



峠三吉氏自筆の『原爆詩集』序